

潰瘍性大腸炎における 5ASA 製剤と PPI あるいは H2 ブロッカーの併用による
臨床経過の解析

1. 研究の対象

2009年1月1日～2019年9月31日に秋田大学医学部附属病院または大曲厚生医療センターで潰瘍性大腸炎に対し5ASA製剤(ペンタサ、アサコール)が投与された患者さんが本研究の対象となります。

2. 研究目的・方法

潰瘍性大腸炎に対する基本治療薬である5ASA製剤(ペンタサ、アサコール)は症状の改善、再燃予防に広く用いられています。それぞれの5ASA製剤はそのコーティングにより薬物動態が特徴付けられます。pHの変化によりコーティングが溶け出す薬剤もあり、PPIやH2ブロッカーなどの制酸剤の併用が臨床経過に影響を与えるかを検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：電子カルテより病歴、内服薬などの情報を得ます。個人情報に厳重に扱われ本研究で得られた情報が他者に知られることにより患者さんが不利益を受けることはありません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒010-8543 秋田市本道 1-1-1

秋田大学大学院医学系研究科消化器内科学講座

TEL: 018-884-6104 FAX: 018-836-2611

研究責任者：下平 陽介